

コンピュータ・デザイン・システム利用によるジャカード柄の試作

尾上三男・内藤融

Application on Computer System for Knitting fabric Design

Mitsuo ONOUE and Touru NAITOU

要 約

外出機会の多くなった40才台前半のミセス層を対象に、おしゃれ感覚でハイグレードな婦人ニット外衣のジャカード柄の試作を行った。

柄傾向について、各種情報をもとにイメージ・マップを作成、分析した結果、次の二つの傾向に集約した。

1. エレガンス・ゾーン

アール・ヌーボーの雰囲気をもった豪華な中に女らしさを感じさせるクラシック感覚のデザイン。

2. モダン・ゾーン

幾何学パターンを優雅なイメージにアレンジした都会的センスのデザイン

以上の二つのゾーンについて、各々5点ずつ、計10点のデザインを試作し、パターンのもつ特徴を生かすよう、素材、編組織も検討し編地づくりを行い、一部製品化も行った。

1. 緒 言

女性の時代と言われ、政治、経済面でも女性が活躍している昨今である。マスコミによく登場する女性は別として、一般的な主婦層の中でも、子育てが一段落し、改めて自分の生活について、より充実した時間を過ごそうとする機運が高まっている。

このような状況にあるのが40才台前半からの主婦であり、積極的に家庭の外に口を向けている。従って外出の機会も多くなり、服装についてもこだわりをもってくる。しかし、この年代層を対象とした商品群は比較的手薄で、気に入ったものがなかなか見つからないといった、消費者の声も耳にする。

そこで本年度は、このすき間を埋める製品ののためのデザインについて、コンピュータ・グラフィック装置を利用し、ジャカード柄の試作を行った。

2. 主婦の意識とデザイン傾向

2-1 主婦の意識と生活環境の変化

(1) 生活環境の変化

主婦が外に目を向け始めた大きな動機として、余暇時間の増加が挙げられる。一つには家庭の電気製品の技術水準が著しく進歩したことでの時間の節約、またビデオなどの普及により、見たい番組も暇な時に見られるような時間の繰り回しが可能となり、合理的かつ計画的に家事を進められること。更には、冷凍食品、レトルト食品、既製そう菜の利用による家事の簡便化、併せて深夜営業、24時間営業の店が増えたことなどで、「デッド・タイム」がなくなり、一日を有効に使えることなどが理由となるであろう。二つには、子育てが一段落し、あまり手がかからなくなった時期でもあると考える。

(2) 主婦の意識の変化

子育ても一段落し、暇のできた主婦が自分自身を見直した時、さまざまな意識の変化がおこってくるであろうと思われる。

1) 再就職願望

2) カルチャー・センター、スポーツ・クラブへの入会

- 3) 各種会合などへの積極的参加
- 4) 仲間同志の食べ歩き、ショッピング
- 5) ハイグレードなおしゃれへのこだわり
等々、家庭も上手に守り、自分の時間も充足してゆく傾向にあると言われている。

以上のような視点から、子育てが一段落した年代、おしゃれへの潜在需要の大きな年代として40才台のミセス層をデザイン試作の対象とした。

2-2 デザイン傾向

40才台ミセス層のデザイン傾向を分析するにあたって、年令層の高い女性を対象とした週刊誌*、雑誌より比較的グレードが高く、おしゃれ感覚の洋服の写真を切り抜き、ジャカード柄を中心にイメージ・マップに分布させた。

イメージ・マップは、たて軸をソフトとハードの両極に、よこ軸をウォームとクール of 2極に規定し、この二次元の空間に資料をプロットしたのが写真1である。これに、図1のイメージの領域をオーバーラップさせ、イメージマップを完成させた。

このマップを分析すると、資料はエレガント、シック、モダンの領域に集中しており、このことから、比較的年代層の高いミセス（40才台）は品が良く、優雅で、しかも新しい感覚のものが好きだという事が解る。

本試作では、傾向分析の結果からエレガントとモダンの二つのゾーンをイメージとして取り上げ、具体的なパターン・モチーフとしては、大きなファッションの流れの中で注目されているアール・ヌーボーと幾何柄に決定した。

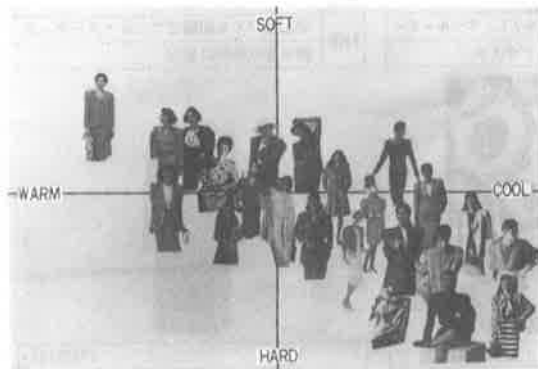


写真1 イメージマップ

*ミセス、ハイミセス、家庭画報、婦人画報、LEL、クロワッサン、ヴァンサンカン

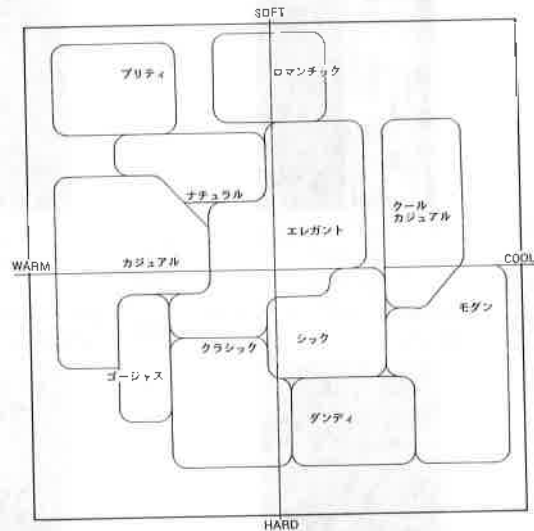


図1 イメージの領域

3 デザイン及び編地の試作

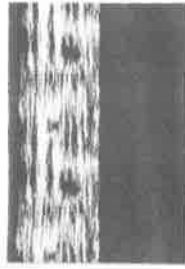
3-1 デザインの試作

前項で分析した結果をもとに、エレガンス・ゾーンのデザイン5点、モダン・ゾーンのデザイン5点の計10点を試作したが、個々の特徴については次のとおりである。写真2～写真13

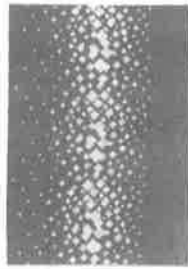
3-2 編地の試作

編地の試作にあたっては、デザインの持つ特徴を最大限に生かせるよう素材、編組織とも検討を行った。素材については、ハイグレードな製品を意識し、絹、アンゴラなどの天然志向の高級素材を中心とし、ラメ糸、レーヨン糸、モヘア、梳毛糸等を組合せることにより、毛足の長短、光沢の有無等異素材の対比のおもしろさを強調した。

組織については、編地の表面変化を意図した。特に柄に立体感を与える方法として、パイル組織を応用し、編面の模様部分だけに輪糸を作り、柄を浮き出したもの、二重組織の裏面に収縮糸を用い、編成後熱処理を行い部分的に縮ませて、柄をふくらませたもの、多重組織を応用し組織と模様を立体的に見せたもの、透し部分を柄の一部に用い変化づけたものなど、異素材の対比効果に、組織の変化を加えた相乗効果で、より複雑でしかも元のデザインを生かせるよう種々工夫を行った。



No	A-1 刷毛目 (写真2)
素材	絹 100%
組織	ジャガード
特徴	筆のかすれのタッチをボーダー柄にデザイン化した。



No	A-2 群星 (写真3)
素材	ウール (梳羊毛)、ラム (ジャバラ)
組織	ジャガード
特徴	大きさの異なる方形の集合体をストライプに構成したデザイン。



No	A-3 斜形 (写真4)
素材	ウール (梳羊毛) 100%
組織	目移し、ジャガード
特徴	形、大きさの違った斜形で画面を構成、軽快な動きで表現したパネル柄



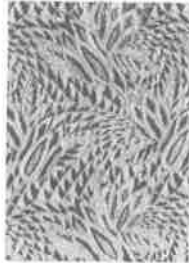
No	A-4 斜行 (写真5)
素材	アンゴラ・ウール混紡糸
組織	多重組織ジャガード
特徴	角度の違う斜線の組合せで変化づけ、組織で立体感を表現



No	A-5 小群 (写真6)
素材	絹、レーヨン、モヘア、ラム
組織	パイル編ジャガード
特徴	不定形の縷詰め模様をパイル組織で立体的に表現



No	A-6 (写真7)
特徴	刷毛目柄を製品化したもので、黒地に白のラインを一本だけ身頃の部分に構成し、強い印象とモダンで、すっきりした感じを表現したドレス



No	B-1 バロック (写真8)
素材	絹 (手紡糸、ラム)
組織	平編ジャガード
特徴	バロック調子の格調の高いモチーフを動きのある地紋と組合せたデザイン



No	B-2 花渦巻 (写真9)
素材	アクリル・ウール混紡糸、レーヨン、ラム
組織	平編ジャガード
特徴	花の輪郭をディフォルメし、アール・ヌーボー調子にまとめたデザイン



No	B-3 唐草 (写真10)
素材	モヘア、絹
組織	パイル編、ジャガード
特徴	平編にパイル組織でアール・ヌーボー調唐草を立体的に表現



No	B-4 花の流れ (写真11)
素材	ウール (梳羊毛)、レーヨン
組織	平編、ジャガード
特徴	肩先から胸、腰にかけて花卉の流れを配したパネル柄



No	B-5 (写真12)
素材	絹、ウール
組織	二重袋編、ジャガード
特徴	二重組織に収縮糸を使用、花の部分だけふくれさせた編地



No	B-6 (写真13)
特徴	バロック柄を製品化したもので、手紡糸の絹の量感を生かし、金ラムでエレガントな雰囲気表現したスーツ

4. 結 論

本年度のデザイン試作は、販売対象の絞り込みを中心とした展開方法で製品化を進めたが、要点として、ターゲットの設定にあたっては、周辺の社会環境、生活環境、意識の変化などの調査を十分に行い、全体的なイメージの把握が必要である。イメージの具体化には、今回使用した、イメー

ジ・マップを利用するのも、ビジュアルで解り易い方法である。

また、最終的に完成された製品が、より訴求力を持つためには、デザインを生かすための素材の選定、組織の研究を計画的かつ緻密に行なわなければならない。

今回のデザインは以上のような視点をふまえ、商品企画の一つの手法として提案するものである。